嵐広也改め七代目嵐芳三郎　襲名披露口上

河原崎國太郎

益城　宏

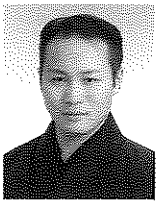
山崎辰三郎

藤川矢之輔

武井　茂

嵐　圭史

中村梅之助


石田　聡

渡会元之

亀井栄克

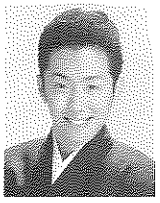
又野佐紋

中嶋宏幸

嵐芳三郎

松涛喜八郎

小佐川源次郎


本村祐樹

竹下雅臣

新村宗二郎

藤井偉策

生島喜五郎

河竹默阿弥／作　小池章太郎／補綴　中橋耕史／演出

通し狂言

切られお富

処女翫浮名横櫛（むすめごのみうきなのよこぐし）

前進座歌舞伎の傑作！

春日八郎のヒット作「お富さん」でも知られた「切られ与三郎」の書替狂言。

切られる人物を与三郎からお富に置きかえた『切られお富―処女翫浮名横櫛―』は、お富を魅力たっぷりに描いて原作をしのぎ、悪婆物の典型に数えられています。

そもそもは可憐純情な女性だったお富が、疵だらけになりながらも、夫をけしかけ強請り騙り、果てはその夫を包丁で…

しかしながらその悪事は、とどのつまりは身を捨てて、愛する与三郎に尽くすため、という一途な恋心が引き起こすドラマの数々。

先代の河原崎国太郎がお富役で、毎日芸術賞を受けたのは一九八一年。本年五月国立劇場公演は二五年ぶりの上演となり、大変御好評をいただきました。

二〇一一年初春、さらに練り上げて、皆さまにお目にかかります。

《あらすじ》

表向きは絹問屋、実は盗賊、観音久次こと赤間源左衛門（梅之助）。その手代、蝙蝠の安蔵（矢之輔）は、悪い仲間と示しあわせ、今日こそ赤間の妾お富（國太郎）への思いを遂げようと辻堂前で…。

あわやというとき、かつて木更津の船中で見初め、契りを交わした浪人の井筒与三郎（広也改め七代目芳三郎）が来かかり助けられる。激しい雷鳴。二人は辻堂へ…。

その密会を知った赤間はお富をなぶり切りにするが、安蔵はこれを助け、薩埵峠に茶店を出して同棲する。

たまたま通りかかった与三郎が自分の主筋の子息であり、名刀北斗丸を探し求める浪々の身で、買い戻す二百両に窮しているとわかり、お富はその調達を引き受ける。

安蔵とぐるになり、今は府中の弥勒町で女郎屋の主人におさまっている赤間の弱みをつき、二百両を強請りとる。

その女郎屋へ客としてあがり、様子をうかがう侍、舟穂幸十郎（圭史）。

帰りみち、お富と安蔵は畜生塚で金を奪いあい、安蔵は傘を、お富は出刃をかざして立ち廻り…。

美術＝熊野隆二
美術補＝高木康夫
照明＝寺田義雄
音楽＝杵屋佐之忠

前進座初春特別公演

2011年1月3日（月）～23（日）

【開演時間】昼の部11時／夜の部４時

【料金】一等席12,500円・二等席6,500円
（税込）三等席4,000円・特別席14,000円

【お問合わせ・お申込み】劇団前進座京都営業所

TEL０７５・５６１・６３００

FAX０７５・５２５・２８８２

HP:http//www.zenshinza.com/

日	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
昼	11:00	貸切	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	＼	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	貸切
夜	貸切	＼	＼	貸切	貸切	4:00	貸切	貸切	貸切	＼	貸切	＼	4:00	4:00	＼	4:00	＼	＼	4:00	4:00	＼